犯罪被害者ケア 苦闘

収入減り赤字団体続出

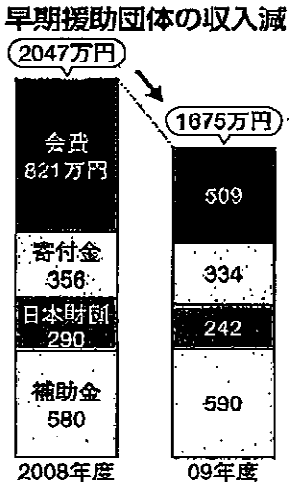
「市民の寄付 頼るしか」

犯罪被害者のケアをする民間団体が、不況の影響で会費や寄付などの収入を減らし、財源確保に四苦八苦している。都道府県の公安委員会の指定を受けた「早期援助団体」二十一団体の場合、二〇〇九年度の平均収入が前年に比べ約15%減り、赤字に転落した。団体側は「国の財政状況から公的資金には期待できず、市民の寄付に頼るしかない」と窮状を訴えている。（大野孝志）

調査は、NPO法人「全国被害者支援ネットワーク」（東京都文京区）が実施。事業規模が大きい東京、埼玉を除く全国四十五団体の〇八、〇九両年度の決算を比較した。

警察から被害者情報を得られる「早期援助団体」二十一団体（〇八年度当時）の平均で、〇九年度の収入は前年度より二百万円少ない約千七百万円。収入の半分を占める市民や企業からの会費、寄付が約千二百万円から八百四十万円に減り、約百万円の赤字に陥っていた。

早期援助団体の収入減



早期援助団体の指定を目指していた二十四団体は平均で黒字だが、会費収入が減少。自治体や日本財団（港区）からの補助金が収入を支えていた。

一方で、被害者の裁判参加や通院などに付き添う「直接支援」が増加し、支出は増加傾向。東京、神奈川、埼玉、千葉の各団体によると、〇九年度の直接支援件数は八百七十三件で、〇五年度の四百四十一件からほぼ倍増した。

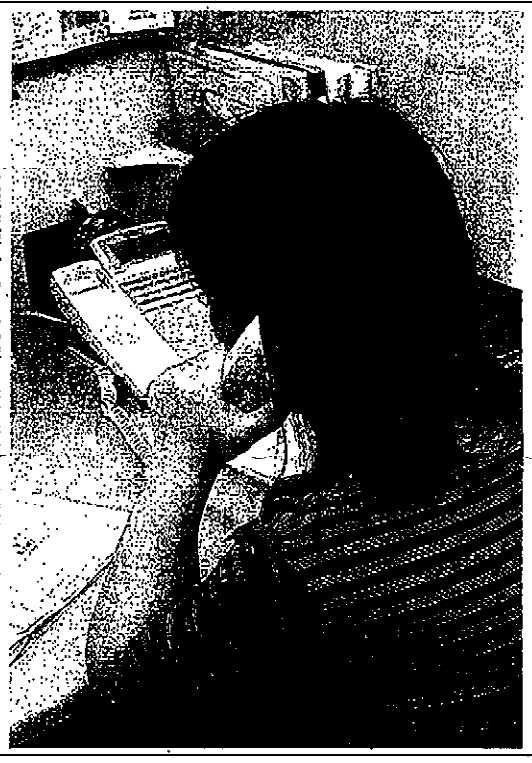
被害者支援都民センター（新宿区）では、〇九年度の会費収入が約一割減り、特定資産を取り崩して黒字を維持した。

平野治夫事務局長は「人がいないとできない仕事で、人件費が予算の半額を占める。管理費を削り、支援は従来と同等以上のことをしなければならない」とする。

埼玉犯罪被害者援助センター（さいたま市浦和区）では、県警職員が個人会員の96%を占めるという特殊事情があり、退職後も年間三千円の会費を払っているため、収入減少が抑えられたという。

全国ネットの増茂成史事務局長は「財源難の主因は長引く不況。直接支援が増え、ボランティアが交通費などの経費を自腹で負担する例もある。実態を社会に訴えたい」としている。

犯罪被害者支援の民間団体　都道府県ごとにあるNPO法人や社団法人が中心になり、被害者やその家族の相談、カウンセリング、公判や通院への付き添いなどをしている。内閣府がまとめ、本年度内に閣議決定する「第2次犯罪被害者等基本計画」の案には、こうした民間支援団体が募金や基金の創設を検討する場合、国が協力することが盛り込まれている。被害者の経済的支援にはこのほか、国の犯罪被害者給付金制度がある。



犯罪被害者からの電話相談に応じる支援員＝千葉市中央区の千葉犯罪被害者支援センターで

支える側 安定しないと…

「支援がなかったら、生きてこれなかった」。神奈川県内で発生した性犯罪被害者の母親が明かした。登校途中で被害に遭った娘は事件後、恐怖で電車に乗れず、制服も着られなくなった。転校し、引っ越した。

「事件さえなければ…」。母親が唇をかむ。週一回の娘のカウンセリングに、仕事を休んで付き添う。体と心の傷に加え、経済的にもつらい。「働かないと。でも、娘を家に残すのが心配。支援員に相談すると『電車に乗れなければ、こちらから行きますよ』とまで言ってくれる」

裁判への被害者参加制度で、母親は公判に出続けている。弁護士と県警の臨床心理士のほか、NPO法人「神奈川被害者支援センター」の女性支援員が付き添う。

支援員はこの母子の支援を始めて十カ月。電車で片道三十分かけて裁判所へ。事前に裁判所の構造を調べ、母親と被告が出くわさないよう配慮した。普段は生活上の相談や、捜査の説明もする。県警出身の非常勤で、時給八百円だ。

公判や病院、警察署への付き添いといった「直接支援」。裁判への被害者参加が始まり、センターの直接支援は〇六年度の二十九件から〇九年度は八十五件に増えた。交通費や人件費がかかるようになった。

センターは〇九年度決算で三百五十万円の赤字だ。舩越融所長は「支えの側の生活基盤が安定していないと、できない仕事。まず、国が支援の基盤を整えるべきではないのか」と話している。

試合後、インタビューに答える早大の斎藤佑樹投手。中央は応武監督＝3日午後、東京・神宮球場で

「それは…仲間です」

手を送った。（●面参照）

十月のプロ野球ドラフト会議で日本ハムに一位指名されながら、記者会見を行わなかった斎藤投手。「最後に一つだけ言わせてください」とインタビュアーに切り出し、「こうやって応援してくれる仲間がいて、すばらしいライバルもいて、ここまで成長できたと思います」と思いの丈を語った。

野手の好守にも助けられ、八回途中まで一本の安打も許さない快投。集中打を浴びて降板したが、リリーフした大石達也投手（三）が後続を断つと、ベンチから飛び出し

列には、全国各地から集まった中高年の女性ファンらが陣取った。新潟市の主婦沢田紀子さんは優勝の瞬間、両手をぎゅっと握り締め、「最高。この優勝決定戦は、佑ちゃんが輝くために用意された舞台」とつぶやいた。

甲子園を沸かせた〝ハンカチ王子〟時代に一目ぼれ。息子と娘が独立したこともあり、早大進学後は夜行バスで上京し、神宮球場や練習場に通いつめた。

斎藤投手の魅力について「いつも周りに気を配り、主将になっても率先してボール拾いまでしている。本当に謙虚。勇気

証拠改ざん

報告放置の検事異動へ

特捜部に一任 公判部長も

法務・検察当局が、大阪地検特捜部の元主任検事から証拠改ざんを告げられながら半年間放置、懲戒処分（減給）を受けた刑事部の国井弘樹検事を近く、総合研究所に異動させる人事を固めたことが三日、関係者への取材で分かった。改ざん可能性の報告を受けながら特捜部に対応を一任した谷岡賀美公判部長を大阪高検検事に、取り調べが問題となった郵便制度悪用事件を特捜部副部長として指揮した田中泰子名古屋地検特捜部長を大阪地検（交通部長に異動させ、体制刷新を進める。

名古屋地検特捜部長の後任は、東京地検刑事部の浦田啓一副部長が有力視されている。

関係者によると、国井検事は昨年五月、厚

捜査現場から外し法務

コンビニ強盗 店長刺殺

襲撃の様子、カメラに

石川

三日午前三時ごろ、[illegible]

養豚場が火災

1万匹超死ぬ

三日午前五時四十分ごろ、栃木県大田原市南金丸の養豚場「ヒラノ大田原農場」の豚舎から火が出ているのを

男性従業員が発見。骨平屋の豚舎三棟三千九百平方メートルし、中にいた豚約千匹のうち約一万

生労働省文書偽造事件の捜査に刑事部から参加、厚労省元係長上村勉被告（四一）＝公判中＝の取り調べを担当。

厚労省の元局長村木厚子さん（五四）＝無罪確定＝が同七月に起訴された後、元主任検事前田恒彦被告（四三）＝証拠隠滅罪で起訴＝から上村被告のフロッピーディスクのデータを改ざんしたことを告げられたが放置。村木さんの初公判直後の今年一月末になって、ほかの同僚や上司に報告した。

谷岡部長は一～二月に、部下の検事から改ざんの可能性について報告を受けたが、前特捜部長大坪弘道被告（五七）＝犯人隠避罪で起訴＝に対応を一任していたことが判明。

田中部長は昨年三月まで大阪地検特捜部副部長。郵便制度悪用事件をめぐっては、大阪地裁が先月、「脅迫的な取り調べがあった疑いがある」として被告の供述調書十二通を証拠採用せず、最高検が検証を進めている。

ウィーンフィ団員が滑落

富士

三日午後一時ごろ、静岡県小山町の富士山頂に近い標高三百メートル付近で、登山オーストリア国籍ウィーンフィルハーモニー管弦楽団員ゲオ・シュトラッカ（四一）が滑落した。百メートル下で御殿場、富士宮両署の山岳救助隊収容したが、死亡が確認された。

御殿場署による

横須賀民家 62歳男性変死

殺人も含め捜

三日午後三時四分ごろ、神奈川県横須賀市衣笠栄町の会社員駒隆夫さん（六二）から「人が倒れている」と、同僚から一一〇番があった。横須賀署が駆けつけたところ、駒さんが玄関近くの下であおむけに倒れ死亡していた。首を締められたようなあとがあったことから、同署は

気球

◇…江戸東京の歴史文化を仮装列で再現